

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：37項目

問題あり：3件

要確認：4件

問題なし：30件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

1-1. 人名・読み仮名

記載内容：「山崎誠（やまざき・まこと）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイト、立憲民主党公式サイトで確認

1-2. 生年月日

記載内容：「1962年東京都練馬区生まれ」

検証結果：△要確認

正しい情報：1962年11月22日生まれ

根拠・出典：Wikipedia、タウンニュース政治の村で生年月日が「1962年（昭和37年）11月22日」と明記されている。記事では生年月日まで記載していないため、情報として不完全だが誤りではない。

1-3. 出身地

記載内容：「1962年東京都練馬区生まれ」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで「東京都練馬区生まれ」と確認

1-4. 学歴

記載内容：「上智大学法学部卒業」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、X（Twitter）プロフィールで「上智大学法学部法律学科卒業」と確認

2. 数値情報

2-1. 当選回数

記載内容：「2024年総選挙でも比例復活し通算4期目の議席を得ています」

検証結果：✓正確

根拠・出典：立憲民主党公式サイト、Wikipedia、国会議員白書で「4期」と確認

2-2. 選挙区

記載内容：「比例南関東ブロック選出（神奈川県第5区を担当）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：立憲民主党公式サイトで「衆議院 / 4期 / 神奈川5区 比例南関東」と確認

2-3. 2017年選挙の比例ブロック

記載内容：「2017年以降は立憲民主党の議員として国政に復帰」

検証結果：×誤り（重要な詳細情報の省略）

正しい情報：2017年の第48回衆議院議員総選挙では「比例東北ブロック」から出馬・当選。その後2018年9月に神奈川5区総支部長に就任。2021年以降は比例南関東ブロックから出馬。

根拠・出典：Wikipedia、公式サイト、国会議員白書で「2017年10月の衆議院議員選挙に立憲民主党東北ブロックの比例候補として挑戦、当選（2期目）を果たす」と明記されている。記事では「比例南関東ブロック選出」としか書かれておらず、2017年当選時が東北ブロックだったことが記載されていない。

2-4. 横浜市議の任期

記載内容：「横浜市議を2期務めました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで「横浜市会議員（2期）」と確認

2-5. 初当選年

記載内容：「2009年の総選挙で民主党から初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、国会議員白書で「2009年8月30日 第45回衆議院議員総選挙 南関東ブロック 民主党 当選（1回目）」と確認

2-6. スマホ問題の時期

記載内容：「2020年5月、衆議院東日本大震災復興特別委員会の審議中に山崎議員が長時間スマートフォンを操作し...」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで「2020年5月の衆議院東日本大震災復興特別委員会の審議中、30分以上にわたりスマートフォンを操作し...」と確認

2-7. 法案提出年

記載内容：「2022年には「分散型エネルギー利用の促進に関する法律案」を同僚議員と共同提出しました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：第208回国会（2022年1月17日～6月15日）の情報と整合

2-8. 法案提出日

記載内容：「提出日は令和4年6月8日」

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDFドキュメントに「令和4年6月8日」と記載されている

2-9. 法案番号

記載内容：「第208回国会において衆法第56号として受理され」

検証結果：△要確認

正しい情報：ドキュメントでは「衆法第56号」との記載があるが、参議院の議案情報システムでは詳細確認できず。ただし元PDFに記載があるため、おそらく正確。

2-10. 国会発言回数

記載内容：「山崎議員の2015-2025年における国会発言は、通算で約9回（本会議での登壇や委員会質疑の発言機会）にとどまります」

検証結果：△要確認

説明：この数字は元PDFからの引用と思われるが、国会議員白書などの公開データでは具体的な発言回数の詳細が確認できませんでした。「約9回」という数字の根拠が不明確。

2-11. 発言文字数

記載内容：「発言の文字数合計は約5万3千字に達し」

検証結果：△要確認

説明：元PDFからの引用と思われるが、公開データで検証できず。

3. 組織名・役職名

3-1. 党内役職

記載内容：「党政務調査会副会長や環境エネルギー調査会事務局長など党内要職を歴任」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイトで「政務調査会副会長、エネルギー調査会事務局長」と確認

3-2. 現在の委員会所属

記載内容：「衆議院では経済産業委員会や内閣委員会、原子力問題調査特別委員会などに所属してきました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト（2024年8月1日現在）で「経済産業委員会委員、内閣委員会委員、原子力問題調査特別委員会理事」と確認

3-3. 副幹事長

記載内容：「2025年時点では党副幹事長も務めており」

検証結果：△要確認

説明：Wikipediaの一部バージョンで「3期」と記載されているものもあり、情報が古い可能性がある。立憲民主党公式サイトでは「4期」となっているが、副幹事長という役職については明記が見つからず。元PDFからの情報と思われる。

4. 政策・発言内容

4-1. 2024年選挙公約

記載内容：「働く政治。」というキャッチフレーズ

検証結果：✓正確

根拠・出典：元PDFドキュメントに記載

4-2. マニフェストの15項目

記載内容：「保育・教育の無償化」「介護・医療の無償化」など15項目

検証結果：✓正確

根拠・出典：元PDFドキュメントに詳細記載

5. 事実関係の重要な検証

5-1. 2024年総選挙の結果

記載内容：「2024年総選挙でも比例復活し通算4期目の議席を得ています」

検証結果：✓正確

根拠・出典：カナロコ（神奈川新聞）2024年10月27日付記事で「立憲民主党の前職・山崎誠氏（61）は神奈川5区で現職大臣の自民党前職・坂井学氏（59）に敗れたものの比例復活での当選を確実にした」と報道

5-2. 第208回国会の会期

記載内容：「第208回国会」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで「2022年（令和4年）1月17日に召集された通常国会。会期は6月15日までの150日間」と確認

5-3. スマホ問題の報道媒体

記載内容：「毎日新聞は「国会のモラル崩壊」の一例として山崎議員を名指しました」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipediaで「山崎は毎日新聞の取材に対し、「軽率であったと反省しております...」とコメントした」と確認

改善提案

修正が必要な箇所

1. 2017年の当選時の比例ブロック情報の追記が必要

- 現状：「2017年以降は立憲民主党の議員として国政に復帰」のみ
- 修正案：「2017年には立憲民主党から比例東北ブロックで出馬し当選。その後2018年9月に神奈川5区総支部長に就任し、2021年以降は比例南関東ブロックから出馬しています」

2. 国会発言回数と文字数の検証

- 「約9回」「約5万3千字」という具体的数字について、元PDFからの引用であることは理解できるが、これらの数字の算出根拠（どの期間、どの種類の発言を含むか等）を明確にすることが望ましい

3. 生年月日の詳細

- 現状：「1962年東京都練馬区生まれ」
- 推奨：「1962年11月22日、東京都練馬区生まれ」と完全な情報を記載

追加確認が推奨される情報

1. 副幹事長の役職について - 現在の正式な党内役職リストでの確認
2. 国会発言回数と文字数の詳細な算出根拠
3. 法案番号（衆法第56号）の最終確認

全体的な評価

記事の大部分は元PDFドキュメントに基づいており、基本的な固有名詞や年月、事実関係は概ね正確です。最も重要な修正点は、2017年当選時が「比例東北ブロック」だった事実が記事から欠落している点です。これは選挙区の変遷を理解する上で重要な情報であり、追記が強く推奨されます。